

令和2年5月27日

静岡県知事 川勝 平太 様

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎

拝復

令和2年5月22日付で拝受致しました貴信について、お答え申し上げます。

まず4月27日開催の第1回有識者会議での私の発言は撤回致します。私の発言については、国土交通省鉄道局長より注意を受け、また、第2回会議においては、会議の福岡座長から「JR東海には、自らの正当性を主張するような説明ではなく、いかに理解して頂けるかとの視点で説明を求めたい」との指導を頂きました。私の発言が一方的であるとして、貴殿、流域市町、利水関係者の皆様の不信を招き、また、会議の妨げとなったことは誠に申し訳なく、重ねてお詫び申し上げます。今後は、会議において、科学的・工学的な議論が進むように、真摯に対応して参りますので、ご寛恕頂きますようお願い申し上げます。なお、会議の運営は、会議を主催される国土交通省の差配される所であり、同省の判断に委ねたいと思っております。

また、貴殿から、工事を安全に進めるために、道路整備を速やかに進めるようにとのご指摘を頂きました。弊社においても、工事においては、安全第一で進めて参ることは勿論であります。

お話のあった各道路については、現在まで、それぞれ関係者と協議を行いながら、精力的に整備を進めている所であります。概略を申し上げますれば、主要地方道南アルプス公園線と県道三ツ峰落合線を結ぶトンネルについては、平成30年8月から工事に必要な調査等を行い、昨年秋から本年4月にかけて、設計条件、坑口位置、線形、断面形状等に関し、静岡市トンネル技術検討委員会の了承を得ており、間もなく、静岡市と施行協定を締結した上で、工事発注に向けた公募を行う予定です。

また、静岡市の林道東俣線については、平成28年8月から工事に必要な調査を行うとともに、平成30年11月からは道路上に堆積した崩土の撤去や橋梁補強等を行って参りました。また、昨年7月、静岡市と、施工区間、施工内容、役割分担等に関する協定を締結し、12月に工事を開始しております。本道路につきましても、昨秋の台風により被災しましたが、静岡市のご尽力により、既に応急復旧により通行を再開しており、今年度末には完全復旧の見込みです。今後は、一級林道並みに改良整備する計画で進めており、工事にあたっては、中央新幹線の工事での通行台数の多い区間、冬季の路面凍結が心配される区間、登山者の往来がある区間などを優先して整備して参ります。貴殿ご懸念の中央新幹線の工事に従事

する作業員の安全につきましては、当該林道が完成するまでの間においても細心の注意を払いながら、しっかりと確保して参ります。

また、これらの道路は、中央新幹線の工事を安全に進めることに資するとともに、完成後において、地域の方々や観光での利用に役立つことを目指しております。

一方、先般の書信でも申し上げましたが、南アルプストンネル工事については、2027年時点での完成のためには、工程は大変切迫した状況にあり、6月中には、現在、中断もしくは未着手となっているヤード整備等の準備を再開する必要があります。

つきましては、こうした状況について、直接ご説明させて頂きたく、重ねて、面会について、宜しく、お願い申し上げます。

敬具